

特定看護師通信

Vol. 2

2023年11月20日

〇月×日

～特定行為検討チームによる症例検討会を開催しました～

院内で中心静脈カテーテル（以下 CVC）の抜去が可能な特定看護師は、3名在籍しており、2022年8月から2023年10月までに特定看護師がCVCを抜去した件数は31件でした。そのため第1回目の症例検討会は、CVCの抜去について検討しました。



検討会の様子



提言の表紙

CVCの挿入に関しては、「医療事故の再発防止に向けた提言 第17号 中心静脈カテーテル挿入・抜去に係る死亡事例の分析-第2報(改訂版)-」が2023年3月に発行されており、CVC挿入に関する院内ガイドラインもあります。

今回は、症例記録を振り返り、提言やガイドラインを再度確認し、安全に抜去することの重要性を共有しました。皆さんにも、院内ガイドラインの一部を共有したいと思います。

CVC挿入に伴う合併症は動脈穿刺、気胸、カテーテルの位置異常、ガイドワイヤー遺残、空気塞栓などがあります。また、挿入後合併症として、カテーテル感染症、静脈血栓症、カテーテル位置異常、カテーテルの迷入・断裂・残存などがあります。

さらに、CVC抜去時には、空気塞栓を予防するために仰臥位、またはトレンドレンプルグ体位で抜去し、しばらく圧迫したのちに、IV3000などの通気性のない透明ドレッシング材を24時間以上貼付することが決められています。そして、抜去後のカテーテルは詳細に観察し、破損、体内遺残などがないことを確認し、診療録に記録します。

皆さんも、CVCの挿入時・挿入中・挿入後には、合併症等を起こさないようにしっかりと観察していきましょう。これからも特定看護師の活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

研修センター 特定行為担当